


行事	月日	行事内容
陳舜臣氏を偲ぶ集い	1月15日	移情閣中国文化同好会と神戸舞子学院の共催「陳舜臣氏を偲ぶ集い」 日時： 1月15日(日)午後2時半～4時 場所： 神戸舞子学院
		内容： ①同好会会員 橘雄三「呉錦堂、孫文が登場する陳舜臣『四人の斧』」 ②神戸大学名誉教授 山田敬三先生「陳舜臣の桃源郷」
新春のつどい	1月29日	友の会主催「2017新春のつどい 南京町春節祭見学」に参加しました 日時：1月29日(日)11:30～ 於：東栄酒家 南京町春節祭見学、神戸華僑歴史博物館見学 中国食文化交流 参加費：3000円(食事代)
		
2月例会	2月12日	「現代中国の若者像」前貴州財経大学外国語学院長 趙平氏 (於)神戸舞子学院 趙平氏は、中国における日本語研究・教育の第一人者です。『挑戦日本語口語』ほか、日本語教育に関する多くの著書を執筆され、また、作家としても知られております。学校教育のサイドから、現代中国の若者像についてお話しいただきました。
武藤学術サロン	3月11日	「舞子浜の住人 武藤山治と呉錦堂」(於)旧武藤山治邸 同好会会員 橘雄三氏 現在、県立舞子公園内に、旧武藤山治邸と移情閣(孫文記念館)が、約百メートルの距離をおいて復元されています。神戸開港150年を迎える今、両建築の主人、武藤山治と呉錦堂についてお話しいただきました。 →画像の人物、右から 武藤山治 呉錦堂 八木與三郎
		
友の会総会&講演	4月29日	4月は友の会の行事に参加しました [講演]「活動を通して見た華僑社会」神戸華僑歴史博物館 館長 蔡勝昌氏 蔡勝昌氏は、神戸華僑総会の理事、副会長の仕事に四十年以上携わってこられました。長年にわたる活動を通じて華僑社会の発展と日中友好に尽力されています。
5月例会	5月21日	「私の故郷、温州と天津」移情閣中国語講座講師 鄭洲氏 先生は温州生まれで、7歳の時、家族で天津へ転居されました。温州生まれの天津育ちです。今も、お母様のご両親は温州にご健在で、夏休みや春節には帰省されています。温州と天津について、そして、南北文化の相違についてもお話しいただきました。
		
6月例会	6月18日	「日中領土問題を考える」移情閣(孫文記念館)友の会顧問 山田敬三氏 外務省のHPには、「尖閣諸島が日本固有の領土であることは歴史的にも国際法上も明らかであり、現に我が国はこれを有効に支配しています。したがって、尖閣諸島をめぐって解決しなければならない領有権の問題はそもそも存在しません」と明記されていますが…。歴史的経緯を中心にお話しいただきました。
7月例会	7月16日	「在日中国人作家が中国を語る難しさ」作家 劉燕子氏 劉さんは北京生まれの長沙育ちです。1991年に留学来日され、その後、26年間、日本で生活、著述活動を続けておられます。2011年から、情報紙「燕のたより」を発行され、中国の作家・知識人の来日の機会に、大阪福島でサロン「燕のたより」を開催、広く、中国の民主化について議論を交わす場を提供されています。
9月例会	9月17日	「高校教科書のなかの孫文」県立高校地歴公民科教員 中村博行氏 「辛亥革命と中華民国の成立」、「国共合作と分離」といった小見出しの箇所です。簡単に記述された孫文。生徒の頭の中につくられる孫文像と孫文の実体は相当距離があるのではないのでしょうか。→移情閣玄関横の孫文像
		
移情閣まつり	10月8日	友の会主催「移情閣まつり」にご参加ください 時間：未定 場所：孫文記念館及び移情閣庭園 内容：公開文化講座、並びにコーラス・二胡ほか同好会の発表など
孫文2017	11月19日	「孫文2017」の内、下記の友の会主催行事、「音楽と講演の会」にご参加ください 時間：未定 場所：移情閣(孫文記念館) 記念講演：「中国近代化における孫文の影響」孫文記念館 館長 愛新翼氏
12月例会	12月17日	「31代子孫 岳飛を語る」岳迅飛氏 中国で、歴史上の英雄と言えば、まず南宋の武将、岳飛の名が挙げられます。岳飛31代子孫、岳迅飛氏に、岳飛の生きた時代、岳飛はその時代の中でどう生きたか、岳飛は日本にどのように紹介されたか、またその影響を受けた日本人、岳飛の子孫でないかと話せない秘話、などについて、お話しいただきます。
		

※  は移情閣(孫文記念館)友の会等の行事です。

※  は、1月は神戸舞子学院との共催行事、3月は旧武藤山治邸主催行事です。